

令和4年度 江戸川区立春江小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	・進んで学ぶ子 ・じょうぶな子 ・思いやりのある子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	心のふるさと、共育・協働の春江小学校 進んで学ぶ子、じょうぶな子、思いやりのある子 児童一人一人としっかり向き合う教師 認め合い、学び合える教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>・新型コロナ対策を取りながら、新しい形での学校行事や教育活動を再開することができた。 <課題>・タブレット端末の有効活用を図り、学力向上につなげる。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		来年度に向けた改善策	
					取組	成果	成果と課題	評価		コメント
いきいきと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	・7つの主な事業(取組)に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・2年生以上の補習学習を年35回以上行う。 ・タブレット端末を高学年は毎日、中学年は週2、3日、低学年は週1日以上活用する。 ・高学年において、学期ごとに教科の交換授業を行う。	児童アンケートで「授業の内容がわかる」についての肯定的回答90%以上。	B	A	・補習を計画的に行った。外部講師の補習教室も順調に進んだ。 ・1年生もタブレット端末の扱い方を覚え、授業の中で活用している。タブレット端末利用についてルールの見直しが必要である。 ・高学年の教科の交換授業は計画通り進めた。	B	・楽しく学習している。 ・タブレットが導入され、学習内容や学習状況が把握しづらい。 ・漢字や音読をもう少しやってほしい。	・補習教室は継続する。 ・タブレット端末利用についてのルールは繰り返し指導する。
	体力の向上	・「運動意欲の向上」に向けた取組の実施・充実	・休み時間を活用した「運動遊び」を週1回行う。 ・体育授業の中で春江準備運動を行う。 ・冬場に風の子運動(長縄、短縄、持久走)を行う。	児童アンケートで「運動が好き」についての肯定的回答90%以上。	B	B	・運動遊び、春江準備運動を継続して行った。 ・風の子運動を計画通りに行った。	A	・運動を継続する取組は大切だと思う。 ・給食後の歯みがきやうがいができる環境が整うとよい。	・コロナやインフルエンザの感染状況を見て、食後のうがいを再開する。
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・各学期に1単元以上、図書館やタブレット端末を活用して探究的な学習を行う。	児童アンケートで「読書や調べ学習が好き」についての肯定的回答90%以上。	B	B	・各学年で調べ学習に取り組んだ。 ・夏休み作品展には調べ学習の作品が多く見られた。	B	・読書に親しむ機会が増えるとうい。	・学校応援団の協力も仰ぎ、本の紹介などをしていく。 ・教員によるブックバイキングを継続する。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・校内委員会を月1回以上開き、個に応じた指導・支援体制を整える。 ・通常の学級と特別支援学級との交流や理解教育を行う。 ・各学級でポッチャの体験教室を開く。	児童アンケートで「授業の内容がわかる」についての肯定的回答90%以上。	B	A	・1学期に各学級でポッチャ体験教室、2学期に2年生を対象に理解教育を行った。 ・校内委員会や生活指導夕会で情報共有を行い、学校全体で対応した。 ・オランダのバラスリートとの交流を通して、共生社会について考える機会とした。	B	・個性や特性を理解し合える人になってほしい。	・家庭と連携し、対応していく。 ・理解教育を継続して行う。
	子供たちの健全育成	・子供たちの健全育成に向けた取組	・学期に1回児童アンケートを取り、いじめの未然防止・早期発見に努める。	児童アンケートで「学校が好き・楽しい」についての肯定的回答90%以上。	B	A	・アンケートを実施し、指導に生かしている。	B	・笑顔で学んでいる子が多く、良い印象を持った。 ・アンケートだけでなく、別の手立てもとってほしい。	・アンケートだけでなく、面談の希望もとる。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・年3回学校評議員会を開き、意見交換を行う。 ・2学期末に保護者、地域に向けて学校の教育活動に対するアンケートを実施する。	保護者アンケートの各項目で「わからない」という回答が20%以下。	A	C	・年3回の学校評議員会を開き、ご意見をいただいた。 ・分散型ではあるが6月、10月、2月に学校公開を行い、保護者に学校の様子を見ていただいた。	B	・少しずつではあるが、学校公開の機会が増えてよかった。 ・分散型ではあるが6月、10月、2月に学校公開を行い、保護者に学校の様子を見ていただいた。	・保護者アンケートの「わからない」を減らせるよう、HP更新をこまめにしていく。
特色ある教育の展開	「学校における働き方改革プラン」	「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施	・スクールサポートスタッフ、副校長補佐の活用を促進する。	・教員の1か月の定時外在校等時間が45時間を超えないようにする。	C	B	・時期にもよるし、個人差もあるが、在校時間が長い教員がいる。	B	・新時代の教育を担う学校の先生の大変さを感じる。	・SSSの活用例を紹介し、活用を促進する。